

令和 4 年 4 月 10 日

国立病院臨床検査技師協会
関信支部 支部長
吉田 茂久 殿

令和 3 年度 監査報告書

私たちは、国立病院臨床検査技師協会関東信越支部規約第 17 条の規約に基づき、令和 3 年度(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)国立病院臨床検査技師協会関信支部の会務活動並びに会計の監査を行ったので、次のとおり報告致します。

1. 監査方法の概要

- 1) 会務監査について、地区代表者会議に出席し、理事からの会務報告及び地区代表者からの意見を聴取しました。また、関係書類など必要と思われる資料の閲覧により業務執行の妥当性を検討し監査を実施しました。
- 2) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧により会計報告書の正確性を検討し監査を実施しました。

2. 監査結果

【令和 3 年度会務】

1) 事務局について

(1) 組織の充実・関係協議会等との連携

各地区会定期総会・研修会へ支部長等役員が積極的に参加し、「関信支部からのお知らせ」を中心に情報伝達及び収集を行っていました。また、常任理事会への NHO 関東信越グループ臨床検査専門職の出席を賜り、情報の共有化を図っていました。更に、新たに契約した Web 会議ツール(Zoom ウェビナー)を用いて関連協議会、地区会、会員からの要望事項などに迅速に対応し、連携を保っていました。国臨協本部に対しては全国支部長会議にて、支部より議題(会員調査)の提出を行っていました。

(2) 事務管理の向上

主に Web で三役会・常任理事会及び各部臨時会議が開催されました。会務遂行については事務局、学術、広報においてリーダー理事を選出し、三役と臨時会議を行うなど最適化を図っていました。また、会員の情報は会員調査及び人事異動通知書等から収集し、支部ニュースを用いて定期的な情報提供を行っていました。

(3) 文化活動

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、昨年度に続き合同交流会・ビアパーティー等の行事が中止となりました。

2) 学術について

(1) 国臨協関信支部学会の開催

第 49 回関信支部学会は「挑戦～臨床検査に今できること～」をテーマに 23 の一般演題発表及び学会企画「学術委員会による分科会」について、Web 会議ツールでのライブ配信が行われました。また、新たな試みであった特設サイトでの地区会・新人紹介コーナーは概ね好評で、会員間の貴重な情報交換の場となっていました。

(2) 学術・技術の振興

人材育成に力点を置いた研修会「医療倫理、国立病院機構倫理行動基準について」をオンデマンド配信にて開催されました。導入した Web 会議ツールは各地区会定期総会・研修会、関信支部学会等においても有効活用されていました。

(3) 研修会の充実

3 回の研修会はオンデマンド配信、昨年度中止となった症例検討会もライブ配信により開催されました。

(4) その他

NHO 関東信越グループ及び地区会研修会への講師派遣やサポートを多数行っていました。

3) 広報について

(1) 国臨協関信支部ニュース

紙媒体 4 回、PDF 版(人事異動)として 1 回発行されました。昨年度から開始した「集まれ若手技師～How about your work～」,「Case study」など若い職員向けの記事も継続して掲載されていました。

(2) 関信支部ホームページ

支部学会や研修会がインターネットを利用して開催する形となり、昨年度に比べてアクセス数が増加していました。社会が急速にデジタル化している現在、更なる充実をお願いしたい。

4) その他

(1) 第 50 回国臨協関信支部定期総会について

電磁的表決とすることが決定されました。

(2) 次年度以降の会務活動について

Web 会議ツールを取り入れ、活動及び理事の会務内容も変化しております。理事が過度な負担を負うことのないよう、状況に合わせた会務の遂行をお願いしたい。

以上、令和 3 年度の会務内容は適正であり、理事の会務執行に関して不正行為や規約に違反する重大な事実はないことを認めます。

【令和 3 年度会計】

令和 3 年度会計に関する収入支出台帳をはじめ証拠書類・貯金通帳等については適正に執行され、令和 3 年度会計報告は、関信支部の収支状況を正しく示しているものと認めます。

令和 4 年 4 月 10 日

監事： 山崎正明 

監事： 瀬下明子 